



こんな方いませんか？

【おしっこの出が悪い】【おしっこに1日何回も行く】



糖尿病の方で、おしっこが出にくい・残尿感・頻尿などの症状がある方が多いのです。
また、発熱が続き、腎盂腎炎といわれ入院される方も多いのです。

「糖尿病と診断された人は、多くの場合、高血糖の多飲多尿の症状は出ません。むしろ、
(1)過活動膀胱(ぼうこう)(2)自律神経障害による神経因性膀胱(3)腹圧性尿失禁による尿トラブルを抱えやすいといえます」



(1)過活動膀胱は、膀胱の動きが異常になって「我慢できない尿意」(尿意切迫感)を伴う頻尿が特徴。糖尿病の人は、理由はよくわからないが過活動膀胱を起こしやすい。

(2)神経因性膀胱は、高血糖の持続による糖尿病の合併症のため、膀胱を支配する自律神経が障害され、尿を十分に出しきれなくなり、排尿後も膀胱に尿が残る状態(残尿)が生じる。さらに進行すると、膀胱に1リットルもの大量の尿がたまって出ない。



(3)腹圧性尿失禁は、くしゃみなど腹圧が高くなったときに尿漏れしてしまう。お腹に脂肪が溜まった人や、骨盤底筋という筋肉が緩んでいる女性にも起こりやすい。糖尿病で肥満の人は、腹圧性尿失禁に悩まされやすい。

(1)～(3)のいずれも糖尿病の人を悩ますが、特に(2)には注意が必要です。
また、老化だけでなく糖尿病が影響している可能性があります。

「神経因性膀胱は、残尿によって膀胱炎も起こしやすくなります。膀胱炎が悪化すると、菌が腎臓の尿の出口の腎盂(じんう)にも炎症が及び、腎盂腎炎になって高熱をきたし、抗生物質で治療しないと致命的となる場合もあります。腎盂腎炎を繰り返すと腎機能が低下し、結果として腎不全につながることもあります」

高血糖状態が続くと免疫力も低下しやすく、膀胱炎などの感染症のリスクは高まります。それを避けるには、日頃からの血糖値管理と尿トラブルがあるときには、早めに主治医に相談しましょう。



＜編集後記＞コロナでの自粛でストレスもあると思いますが、今一度、ご自分の生活様式を見直してみるチャンスでもあります。しっかり向き合ってみてください。

発行元：市立三次中央病院

糖尿病療養指導チーム

文責：看護師 根間明子 加井妻恵美